

百人一首 ゆかりの地 宇都宮

皆さんは、宇都宮市が百人一首ゆかりの地であることを知っていますか。

今回は、本市と関わりの深い百人一首の歴史を紐解き、ゆかりの地を紹介します。

☎文化都市推進課 ☎(632) 2763



詠めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

宇都宮は百人一首ゆかりの地 ID 1007440

トピック TOPIC

百人一首ゆかりの地である本市では、市民の皆さんに百人一首に親んでもらうため、毎年秋に「うつのみや百人一首市民大会」と「蓮生記念全国競技かるた宇都宮大会」を開催しています。

令和元年には「同時にかかるた遊びをした最大人数」701人のギネス世界記録®を達成しました。



▲ギネス世界記録®達成時の様子

百人一首の誕生には、鎌倉時代に宇都宮市で活躍した宇都宮城5代城主宇都宮頼綱の存在が欠かせません。

頼綱は、鎌倉幕府から謀反の疑いを掛けられてしまい、宇都宮城と民を守るため、やむを得ず出家し、京都に移り住むこととなりました。そして、名前を「蓮生」と改名しました。蓮生は京都で和歌の名手「藤原定家」と親しくなります。やがて、蓮生の娘と定家の息子（藤原為家）が結婚し、蓮生と定家は親戚関係になり、和歌を愛した蓮生は、定家に頼んで別荘の襖に飾る和歌を選んでもらいました。それが百人一首のもとになったと言われています。

宇都宮氏ゆかりの地を巡ろう 百人一首のまち宇都宮 まちあるきマップ

百人一首の成立に深く関わった宇都宮氏ゆかりの地を訪れて、宇都宮の歴史を肌で感じてくださいね！



A 宇都宮城址公園

宇都宮城は、藤原宗円が二荒山神社の社務職となり、その南側に館を築いたのが始まりとされています。市制110周年事業で、江戸時代の姿で復元されました。



B 二荒山神社

二荒山神社(宇都宮大明神)と宇都宮氏の関係は、藤原宗円が社務職となったことに始まり、代々宇都宮氏が社務職を兼ねていました。



C 清巖寺

宇都宮城5代城主頼綱(蓮生)の供養塔といわれる墓があります。また、8代貞綱が母の供養に奉納した「鉄塔婆」があります。



「百人一首デザインマンホール」を見に行こう！ ID 1039358



今年度、市民大会が第30回を迎えることを記念して、市民の皆さんがより「百人一首ゆかりの地」を実感できるよう、市内の百人一首ゆかりの地に「百人一首デザインマンホール」を設置しました。まち歩きなどを通して、ぜひ見つけてみてください。

設置場所など、詳しくは、市☎をご覧ください。



▲二荒山神社大鳥居前(馬場通り1丁目)



▲宇都宮城址公園北側入口付近(本丸町)



▲ライトライン駅前公園前停留場付近(東宿郷5丁目)